

経営課題4 子育て世代が魅力を感じるまちづくり

区内では少子高齢化が進み、生産年齢人口（15歳～64歳）の減少によるまちの活力の低下が懸念されています。子育て世代の居住を促進し、バランスの取れた人口構成を確保していくことが重要です。

区内では子育てを支援する団体やグループの活動が活発です。子育て世代が魅力を感じるまちづくりのために、これらの団体と連携・協働しながら、子育てしやすい環境づくりを進めていく必要があります。

子育て世代が魅力を感じるまちづくり



こどもの英語でのコミュニケーション能力を高める英語交流事業 他

子育てしやすい環境を作るほか、子どもたちが自ら学び、考え、課題を解決し成長していく力をはぐくむ。

1 子育てしやすい環境の整備

増大する保育ニーズに対応するため、引続き待機児童ゼロを維持するとともに、共働き世帯のニーズに応える多様な保育サービスの充実を図ります。

地域の子育て支援団体やグループが行う活動を支援し、子育てにかかる負担や不安を軽減します。

新たな担い手が子育て支援活動に参加できる機会を提供します。

地域の子育て支援団体やグループと連携し、気軽に子育てについて相談できる体制を整えるとともに、区内の多様な子育て関係情報をわかりやすく提供します。

1) 保育所待機児童への対応 【予算額 一 千円】

低年齢児の保育所入所枠を確保するため「小規模保育事業」を実施し、事業者を公募します。

また、「子ども・子育て支援法」施行に伴い、平成 27 年度より保護者が、認定こども園・幼稚園・保育所での教育・保育や、一時預かり、放課後児童クラブ等の地域子育て支援事業等の中から適切なものを選択し、円滑に利用できるよう支援を行います。

目 標 小規模保育事業所を少なくとも 1 か所新設。

結 果 小規模保育事業所 1 か所開設

自己評価 目標達成

取組実績

- ・自主整備による認可保育所 1 か所決定（平成 29 年 4 月 1 日開設予定）
- ・27 年度利用者支援専門員による相談件数：462 件（内、アウトリーチによる施設訪問 21 回、相談 64 件）

2) 子育て支援情報の提供・ネットワークづくりの支援 【予算額 412 千円】

子育てされている方をサポートするために、子育て支援情報を的確に提供するほか、乳幼児健診時に状況に応じた支援や相談、情報提供を行います。また、児童養育等に関する相談指導を行うとともに、子育て支援機関が連携し在宅で子育てを行っている家庭を見守り支援します。

目 標 子育て情報が役立ったと答えた区民の割合：70%

結 果 97%

自己評価 目標達成

取組実績

- ・区広報誌 7 月号で特集号を作成、配布
- ・乳幼児健診時に子育て関係情報の提供及び相談 36 回
- ・子育て支援連絡会 12 回
- ・「楽育子育てマップ」を 6000 部作成（2～3 月に作成し 4 月から配布）

2 子育て世代の居住促進

さまざまな機会をとらえて、交通の利便性や豊かな歴史・文化資源など、港区に住む魅力について、積極的に情報発信を行います。

1) 港区に住む魅力の発信 【予算額 ー 千円】

交通の利便性や豊かな歴史・文化資源など、港区に住む魅力について、マスコミ等への情報提供により、積極的に発信します。

目 標 マスコミ等による情報発信：4回

結 果 9回

自己評価 目標達成

・マスコミへの情報提供：10回

取組実績

3 子どもの学ぶ力、生きる力の育成

学校園との連携を強化し、学校教育の支援や就学制度の改善など、さまざまな教育課題に取り組めます。

福祉的課題や発達上の課題を有する児童などへの支援を充実し、指導にあたる教員の負担を軽減することにより、学校教育環境の向上を図ります。

学校・地域・企業・NPO等と協働して、子どもの見守りや健全育成をはじめ、さまざまな教育活動に取り組むことにより、子どもの生きる力を育みます。

1) 学校園と連携した教育改革の推進、教育課題解決への取り組み

【予算額 97千円】〈新規〉

学校協議会を通して保護者・区民の意見を学校園の運営に反映させるとともに、教育行政連絡会等を通して校長と連携を強化し、地域の状況を踏まえながら、学校教育支援や学校配置の適正化などの教育課題に取り組めます。

目 標 学校園との連携強化に係る新規取組の実施件数：2件

結 果 4件

(①港区教育会議の設置、②学校でのスケート教室の開催、③港区サードプレイス事業の開始(再掲)、④こども110番の家の地図の配布)

自己評価 目標達成

取組実績

- ・区内17校園の学校協議会への区職員の出席：各3回(全開会数)
- ・区教育行政連絡会の開催：小学校、中学校各3回
- ・区小学校長会・教頭会への出席・連絡調整：各11回

2) 学校園における福祉的課題をかかえる児童生徒への支援

【予算額 3, 166千円】

社会福祉等の専門的な知識や技術に加えて教育分野に関する知識を有するスクールソーシャルワーカーを区内市立幼稚園及び小・中学校へ巡回・派遣し、福祉的課題をかかえた児童生徒及びその家庭に対し、関係機関等のネットワークを通じた福祉施策の的確な活用など、多様な支援方法を用いて課題解決に向けた対応を行います。

目 標 本事業が「有効」と回答した学校園の割合を70%以上にする。

結 果 93.7%

自己評価 目標達成

取組実績

- ・スクールソーシャルワーカー1人配置（139日 976.5h従事）
- ・区内17校園を巡回するとともに、学校園からの要請に基づき派遣。
相談ケース：75ケース、うち好転件数60件

3) 学校における発達障がいサポート事業 【予算額 3, 711千円】

区内市立小・中学校に在籍する発達障がい等のある児童生徒のうち、行動面で特に支援が必要とされるADHD等の重度な児童生徒に対し、遠足や社会見学等の校外学習や放課後の課外活動である部活動等をサポートするため、地域の人材を活用した発達障がいサポーターを配置します。

目 標 本事業が「有効」と回答した発達障がいサポーター配置校の割合：80%以上

結 果 100%

自己評価 目標達成

取組実績

- ・発達障がいサポーターの配置時間：3,570時間
- ・発達障がいサポーターへの研修及び意見交換会を実施1回（12月）

4) 中1ギャップ問題の解決に向けた取り組み 【予算額 895千円】

港区における中1ギャップ問題の解決に向け、家庭学習の促進を行うとともに別室登校等サポーターによる不登校児童生徒等への対応策を実施します。

目標 別室登校等サポート事業が「有効」と回答したサポーター配置校の割合：80%以上

結果 81.8%

自己評価 目標達成

取組実績

- ・不登校児童生徒等への別室登校等サポート事業 376日
- ・教育フォーラム H28. 3. 26(土)開催
- ・「家庭学習の手引き」の活用 新入生、転入生への配布、出前講座へのメニュー化
概要版を教育フォーラムで説明
家庭学習のため「みなりん学習ドリル」の配布

5) 港区サードプレイス事業（こどもの居場所づくり）

【予算額 481千円】＜新規＞

子どもに家庭でも学校でもない、地域のボランティアが運営する第3の居場所（サードプレイス）を提供することによって、自由に話したり学習したりできる環境や、地域の人々とのつながりの中で、生きる力・学ぶ力を育みます。

目標 複数回の参加者の割合：50%以上

（撤退基準）上記目標が30%未満の場合は事業を再構築する。

結果 12.5%

自己評価 目標未達成（撤退基準）

改善策 対象とする子どもに「不登校児童・生徒」が含まれていることやボランティアが送迎することも可能であることを明示したチラシを作成し、広報を行うとともに、不登校問題についての保護者向け講演会を開催するなど、エルカフェの周知に努める。また、土曜日に加え平日にも開催し、より参加しやすい環境を整えていく。

取組実績

- ・居場所の開設：4月～3月 毎月第2土曜に開催

6) 絵本によるこどもの読書活動の促進 【予算額 412千円】

区内の学校図書館や地域の公共施設等において、地域の主体的な「絵本ひろば」の開催を促進することで、子どもの主体的な読書活動を推進します。

目 標 地域が主体的に実施する絵本ひろばの回数：3回

結 果 5回

自己評価 目標達成

取組実績

- ・ 絵本による読書活動促進スタートアップ事業の実施
絵本ひろばの協働開催 地域5回、学校8回 計13回
- ・ 絵本ひろば連絡会の開催 1回（10月）

7) 地域の強みを活かした教育力向上事業（こどもサイエンスカフェ）

【予算額 57千円】〈新規〉

区内の教育資源を有する施設と連携するなど、地域の強みを活かした社会教育の機会を提供します。

目 標 参加してよかったと回答した参加者の割合 70%以上

結 果 100%

自己評価 目標達成

取組実績

- ・ こどもサイエンスカフェの実施 8回

8) 子どもの英語でのコミュニケーション能力を高める英語交流事業

【予算額 6, 4 4 4 千円】

小中学生を対象に英語圏での生活を再現した通所型の英語村などアクティブな英語学習や英語づけの合宿などを通じて、英語によるコミュニケーション能力や英語への学習意欲、外国文化への関心等を高め、グローバル人材の育成をめざします。

目 標 小学生（3年生）の受講者のうち、「外国の人が話しかけてきたらどうしますか？」に対して「英語で受け答えする」と回答した者：70%以上

結 果 85.7%

自己評価 目標達成

取組実績

- ・英語村などアクティブな英語学習の機会の提供

小学3年生 10人×1カ所+11人×1カ所：各120時間

中学生 10人×1カ所：75時間+（3泊4日、1泊2日、1泊2日の合宿）

- ・英語カフェの実施

小学4年生～中学生 30人×1カ所+21名×1カ所：各2時間×24回

9) 青少年の健全育成の推進 【予算額 2, 1 7 9 千円】

青少年の健全育成や非行防止を図るため、青少年指導員による街頭指導、夜間巡視、青少年福祉委員による社会環境浄化活動等に加えて、各中学校区の「青少年育成推進会議」における研修会の開催などを支援し、学校・家庭・地域が協働・連携して取り組む活動を推進します。

目 標 青少年育成推進会議の参加者がアンケートで、「青少年育成推進活動が有意義である」と回答した者の割合：70%

結 果 100%

自己評価 目標達成

取組実績

- ・「青少年育成推進会議」における夜間巡視等の取り組み：各中学校下で計20回
- ・「青少年育成推進会議」における意見交換会・研修会：1回
- ・「こども110番の家」事業の協力家庭・事業所の新規登録の促進（広報紙掲載）
- ・「こども110番の家」事業の協力家庭・事業所の地図の作成配布、ホームページ掲載

